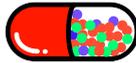


薬局通信



第114号



大阪母子医療センター

新規試用または採用、採用区分が変更になった医薬品一覧

新規試用医薬品	新規採用医薬品	新規患者限定医薬品
① アネレム静注用 50 mg ② バクスミー点鼻粉末剤 3 mg ③ ツムラ柴胡加竜骨牡蛎湯 ④ バクタミニ配合錠	① フェインジェクト静注 500mg ② エピペン注射液 0.15mg・0.3mg ③ バリトトップ	① ケイキサレートドライシロップ 76% ② ポリスチレンスルホン酸 Ca 経口ゼリー20%分包 25g「三和」 ③ トラバタンズ点眼 0.004%2.5mL ④ アイファガン点眼液 0.1% ⑤ アゾルガ配合懸濁性点眼液 ⑥ エヌジェンラ皮下注 24 mgペン ⑦ ソグルーヤ皮下注 5 mg ⑧ オルケディア錠 1 mg ⑨ レバスティブ皮下注用 3.8 mg ⑩ エンシュア・H (コーヒー) 【通常採用→患者限定薬に変更】 ① オラベナム小児用細粒 10%
新規院外専用医薬品		採用中止品目
① アクテムラ皮下注 162mg オートインジェクター ② ポリフル細粒 83.3% ③ バクタミニ配合錠		なし

変更した医薬品

No	院内採用削除薬品名	理由	代替薬名
1	メバロチン錠 10 mg	期限切れ、使用患者僅少のため、後発品および患者限定への変更	[限] プラバスタチン Na 錠 10 mg「サワイ」
2	セファクロル細粒 10%「日医工」	採用品が出荷停止のため	ケフラー細粒小児用 100 mg
3	コロナリーM 輸液	採用品が販売停止のため	ハイカリック液-2号
4	アルチバ静注用 2 mg	後発品へ切替 (関連診療科へ確認済)	レミフェンタニル静注用 2mg「第一三共」

採用薬品の処方開始は、原則として**2022年9月6日(火)**からになります。

ただし、採用中止薬、切り替え等は院内在庫薬がなくなり次第実施となりますので開始日が異なる場合があります。

新規試用医薬品

- ① **アネレム静注用 50 mg** 処方箋医薬品/第三種向精神薬/習慣性医薬品
(ムンディファーマ) 全身麻酔剤
一般名：レミマゾラム

採用理由

作用発現が早く、その代謝物も活性が無く投与終了後から催眠作用の遷延する可能性も低い。また血行動態への影響もプロポフォールよりも小さく循環面からも有用であり、フルマゼニルによる拮抗も可能であるため安全面においても有用な薬剤である。

効能効果

全身麻酔の導入及び維持

用法用量

<導入>

通常、成人には、レミマゾラムとして12mg/kg/時の速度で、患者の全身状態を観察しながら、意識消失が得られるまで静脈内へ持続注入する。なお、患者の年齢、状態に応じて投与速度を適宜減速すること。

<維持>

通常、成人には、レミマゾラムとして1mg/kg/時の速度で静脈内への持続注入を開始し、適切な麻酔深度が維持できるよう患者の全身状態を観察しながら、投与速度を適宜調節するが、上限は2mg/kg/時とする。なお、患者の年齢、状態に応じて投与開始速度を適宜減速すること。覚醒徴候が認められた場合は、最大0.2mg/kgを静脈内投与してもよい。

処方区分：院内処方可

長期投与の可否：対象外

薬価：2,218 円/瓶

② バクスマー一点鼻粉末剤 3 mg 処方箋医薬品／劇薬

(日本イーライリリー) 低血糖時救急治療剤

一般名：グルカゴン

採用理由

重症低血糖時に経口でブドウ糖投与ができず、静注ルートも速やかに確保することが難しい場合に、点鼻投与での血糖値上昇が期待される。入院患者で重症低血糖や無自覚性低血糖を発症するリスクが高い患者に退院時に処方することが想定される。

効能効果

低血糖時の救急治療

用法用量

通常、グルカゴンとして1回3mgを鼻腔内に投与する。

処方区分：院内処方可

長期投与の可否：対象外

薬価：8,368.⁶円/瓶

③ ツムラ柴胡加竜骨牡蛎湯 処方箋医薬品

(ツムラ) 漢方製剤

含有成分名：サイコ、ハンゲ、ブクリョウ、ケイヒ、タイソウ、ニンジン、ボレイ、ショウキョウ、オウゴン、リュウコツ

採用理由

クラシエ製品が錠剤で服用しやすいため用いられることが多いが、ダイオウ（妊婦は投与を避ける、授乳婦は慎重投与）が含まれる。しかし、ツムラ製品にのみダイオウが含有されていないため申請された。

効能効果

比較的体力があり、心悸亢進、不眠、いらだち等の精神症状のあるものの次の諸症：

高血圧症、動脈硬化症、慢性腎臓病、神経衰弱症、神経性心悸亢進症、てんかん、ヒステリー、小児夜啼症、陰萎

用法用量

通常、成人1日7.5gを2～3回に分割し、食前又は食間に経口投与する。

なお、年齢、体重、症状により適宜増減する。

処方区分：院内処方可

長期投与の可否：可

薬価：20.⁶円/g

④ バクタミニ配合錠 処方箋医薬品

(シオノギ製薬) 合成抗菌剤

一般名：スルファメトキサゾール・トリメトプリム製剤

採用理由

ダイフェン配合錠はサイズが大きいいため2分割または4分割で処方することが多い。また苦みが強いいため内服困難な患者も多い。当製品は含量・大きさ共に1/4サイズであり分割の手間が省け、苦味改良のため甘味料(スクロース)含有されており服薬コンプライアンスの向上が期待できる。

効能効果

○一般感染症

<適応菌種>

スルファメトキサゾール/トリメトプリムに感性の腸球菌属、大腸菌、赤痢菌、チフス菌、パラチフス菌、シトロバクター属、クレブシエラ属、エンテロバクター属、プロテウス属、モルガネラ・モルガニー、プロビデンシア・レットグリ、インフルエンザ菌

<適応症>

肺炎、慢性呼吸器病変の二次感染、複雑性膀胱炎、腎盂腎炎、感染性腸炎、腸チフス、パラチフス

○ニューモシスチス肺炎の治療及び発症抑制

<適応菌種>

ニューモシスチス・イロバチー

<適応症>

ニューモシスチス肺炎、ニューモシスチス肺炎の発症抑制

用法用量

<一般感染症>

通常、成人には以下の1日量を2回に分割し、経口投与する。ただし、年齢、症状に応じて適宜増減する。

	バクタ配合錠	バクタミニ配合錠	バクタ配合顆粒
1日量	4錠	16錠	4g

<ニューモシスチス肺炎の治療及び発症抑制>

(1) 治療に用いる場合

通常、以下の1日量を3~4回に分割し、経口投与する。ただし、年齢、症状に応じて適宜増減する。

		バクタ配合錠	バクタミニ配合錠	バクタ配合顆粒
1日量	成人	9~12錠	36~48錠	9~12g
	小児	トリメトプリムとして15~20mg/kg		

(2) 発症抑制に用いる場合

通常、以下の1日量を連日又は週3日経口投与する。

		バクタ配合錠	バクタミニ配合錠	バクタ配合顆粒
1日量 と回数	成人	1~2錠を1回	4~8錠を1回	1~2gを1回
	小児	トリメトプリムとして4~8mg/kgを2回に分割		

処方区分：院内処方可

長期投与の可否：可

薬価：33.70円/錠